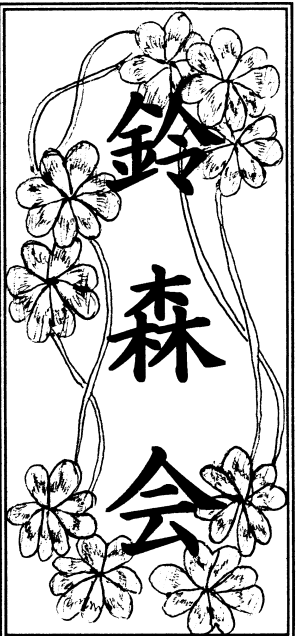




鈴森会 会報
発行所
千代田区神田岩本町
一番地 岩本町ビル内
鈴森内科事務局
電話 (3253) 7081
発行者 石川 喜一郎
編集発行人 斉藤、加藤

糖尿病と動脈硬化

はじめに

動脈硬化症 (arterial Sclerosis) は種々の原因で、血管内膜が肥厚し粥状変化、プラーク形成がおこり、動脈壁が変性し、脆弱化し、動脈瘤が形成したり、血栓が出来たりします。動脈硬化の危険因子としては、糖尿病、高血圧、脂質異常症、喫煙が考えられ、最近では、過栄養による肥満が注目され、メタボリックシンドロームの目玉となっている。

動脈硬化による疾患の動向

脳血管障害の頻度は、高血圧症治療の進歩とともに次第に減少傾向がみられるが、心疾患は一九六〇年代に比べ一九〇〇年代から急速に増加し、約4倍の増加を示している。脂質異常症とくにコレステロールについては、一九八〇年〜一九九〇年の十年間で上昇傾向がみられ、ますます高リスクファクターになっている。糖尿

病は、最も重要な危険因子で、糖尿病治療群で八〇〇万人、予備群で一千万人と、ますます増加傾向がみられる。4月からメタボ健診が開始されているが、主な目的は、糖尿病を減らすことにある。糖尿病による心疾患イベントをおこすリスクは非糖尿病患者の二〜四倍といわれている。喫煙も長期的に観察すれば、喫煙率も低下しているが、若年者の喫煙は増加しており、三十〜四十歳代は約六〇%と極めて高い。また、肥満も問題で、肥満人口は、男性でやや増加傾向があり、疾患発見の要因となっている。

動脈硬化の検査

動脈硬化の検査としては、機能的検査として、生理機能検査があり、ABI (Ankle brachial pressure index) があげられ、当クリニックでも施行されている。形態検査としては、直接動脈を観察する画像診断があり、眼底検査、胸レントゲン検査による大動脈石灰化、頸動脈エコー、CT、MRI等があげられ、眼底検査、胸レント

ゲン検査、頸動脈エコーは当クリニックでも行われている。なかでもABI (足関節、上腕血圧等) は簡便で無侵襲的検査で、血管の硬さ、血管内の狭窄まで、情報が多く、閉塞性動脈硬化症の診断や治療に欠かせない診断法である。頸動脈エコー検査でも頸動脈の内膜、中膜複合体の厚さを測定し、動脈硬化やアテロームを測定、血栓性脳梗塞を診断すること、それを観察することである。それでも、判断できない場合は、CTやMRIを検査し、血管や血管内外の状態を把握し、診断、治療する。動脈硬化は、色々な因子(複合因子)の総合的結果であり、特に、現在、私達のやるべきことは、糖尿病の治療を優先的にこなわなければならないということである。糖尿病患者の血管の動脈硬化は、通常の人の十〜十五年早く招来するからである。

動脈硬化と糖尿病性血管障害

糖尿病患者の場合、動脈硬化の進行は十〜十五年早く進むといわれ

ている。結果的には、脳血管障害(脳梗塞が多い)、虚血性心疾患(心筋梗塞が多い)の頻度が高く、致命的な疾患が多く、死に至る例が多いといわれる。糖尿病の合併症としては、脳梗塞、心筋梗塞は当クリニックでも良く発見され、早期にみつけているため、死に至ったケースはない。しかし、糖尿病歴が長く、コントロールが悪い等の患者さんは当然、その疾患にかかる頻度は高くなるわけで充分、療養姿勢をあらためなければならぬし、自分だけ、かからないと思うことは不幸である。とくに高血圧、高コレステロール血症、肥満、喫煙等の合併のある人は、充分気をつけてほしい。

細小血管障害と糖尿病

糖尿病には血管病変として、細小血管病変と大血管病変があり、細小血管病変としては、網膜症、腎症、神経障害の糖尿病性三大合併症があげられ、大血管病変としては、脳血管病変と冠動脈疾患、下肢末梢血管病変が最も重要である。細小血管としての網膜症はコントロール不良で、網膜の新生血管が出血し、視力は低下し、進行の早い人では二〇年で失明するといわれている。腎症は、最近の透析導入の四〇%が糖尿病からで、発症から五年でおこるといわれ、蛋白尿

が増量しないように塩分制限などの食事療法の実行を、日頃から心がける必要がある。神経障害は、知覚異常、こむら返り、痛みなどの症状が出しやすく、発見もしやすい。また、立ちくらみ、排尿障害、インポテンツ便通異常なども多く多彩な症状を示す。治療法は少なく、精神的苦痛が続くことがある。

大血管障害と糖尿病

大血管障害としては、致命的な脳卒中(とくに脳梗塞)、心筋梗塞があり、狭心症や心筋梗塞の自覚症状は、自律神経障害のため、胸がしめつけられる、胸痛などの症状が出にくく、発見が遅れることがあり、定期的受診と心電図等の検査は重要である。胸が苦しくなった場合は、我慢しないで、ただちに受診し、病名が明らかになれば、最近ではカテーテルによる治療がすすんでいるので、救命される確率が高いので、ぜひ実行してほしいものである。

せん。但し、物忘れなどに医療相談、薬の内容、他科受診、専門医紹介などの要請に応ぜられるよう体制を充実させるために、皆さんと共に努力したいと思います。そこで、皆さんには、「かかりつけ医は鈴森内科です」という証明書を登録していただいて利用してもらいたいと思いますので、是非、窓口で相談して下さい。

かかりつけ医の登録について

昭和三十八年設立と同時に慢性疾患(とくに糖尿病中心)管理に力を入れ、そのツールとして管理手帳(当クリニック独自)を作成し、自分自身の健康管理手帳として利用し、私どもも病気のものは勿論のこと、全人的な管理と相談に応じてきたつもりです。また、緊急時には、鈴森会会員を中心に、電話連絡で二十四時間管理できるようにしてあり、かかりつけ医としての機能を充分、果たせるよう整備

かかりつけ医の登録について

昭和三十八年設立と同時に慢性疾患(とくに糖尿病中心)管理に力を入れ、そのツールとして管理手帳(当クリニック独自)を作成し、自分自身の健康管理手帳として利用し、私どもも病気のものは勿論のこと、全人的な管理と相談に応じてきたつもりです。また、緊急時には、鈴森会会員を中心に、電話連絡で二十四時間管理できるようにしてあり、かかりつけ医としての機能を充分、果たせるよう整備

いい肌つづけ。



口内炎への効き目を、肌あれにも。

チョコラBBプラス

【医薬品】
効能・効果：肌あれ・口内炎の緩和、肉体的疲労時のビタミンB₂補給など。
使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。

あなたを選ぶ
ジェネリック

日医工株式会社
東京都目黒区目黒1丁目1番1号
TEL: (03) 5117-1100 FAX: (03) 5117-1101
E-mail: koushou@nichiko.co.jp
http://www.nichiko.co.jp

changing the way we care for diabetes

よりよい糖尿病ケアを目指して

ノボ・ルティスクは、すぐれた医薬品の提供だけでなく、患者さんや医療従事者のみなさんの声にも耳を傾け、糖尿病ケアのさらなる改善を目指しています。よりよい未来のために、私たちは、心と心をつなぐために努力しています。

ノボ・ルティスク ファーマ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-1 丸の内三井ビルディング
電話: 03-5561-0001 (代表) FAX: 03-5561-0002
www.novonordisk.co.jp

